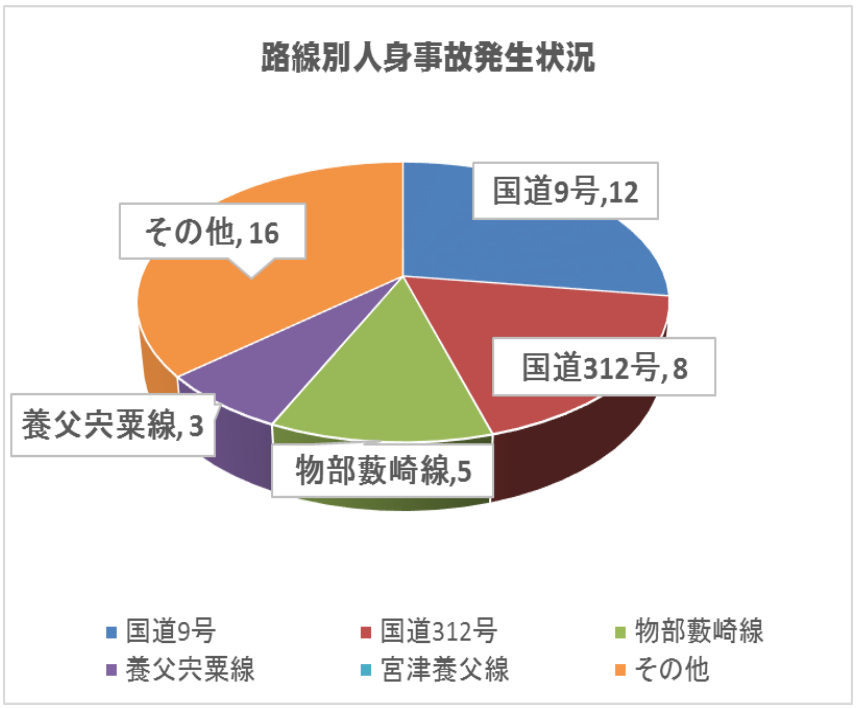
南但馬警察署管内交通事故発生状況（令和7年7月末）

交通事故発生状況			令和7年7月中（前年対比）		令和7年7月末（前年対比）	
人身事故件数			5	−1	44	−1
死者数			0	0	1	−2
傷者数（重傷）			5（0）	−1（0）	54（4）	＋5（−5）
朝来市	人身事故		3	−2	29	＋7
		死者数	0	0	0	−1
		傷者数（重傷）	3（0）	−2（0）	37（3）	＋14（＋2）
養父市	人身事故		2	＋1	15	−8
		死者数	0	0	1	−1
		傷者数（重傷）	2（0）	＋1（0）	17（1）	−9（−7）
物件事故件数			100	−25	870	+125

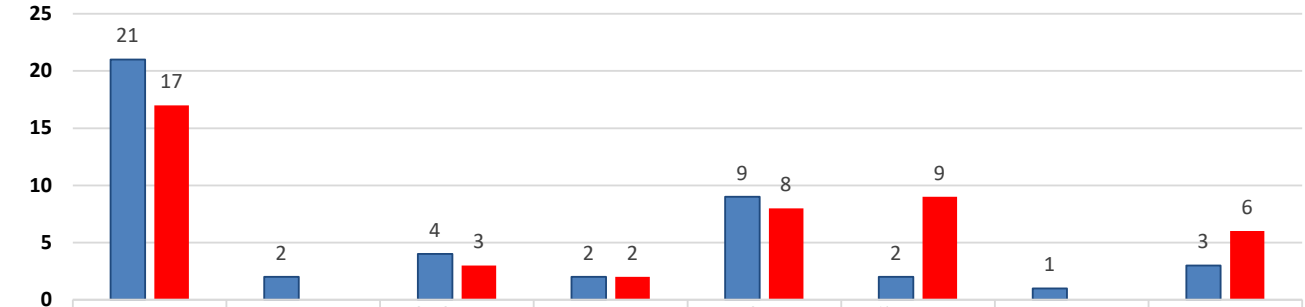
時間/曜日	合計	月	火	水	木	金	土	日
合計	44	6	9	11	7	4	4	3
昼間小計	40	6	8	10	6	4	3	3
6～ 8	5	1	1	2	1	0	0	0
8～10	8	1	3	2	1	1	0	0
10～12	5	0	2	1	0	0	1	1
12～14	5	1	0	1	1	1	0	1
14～16	8	3	2	2	0	0	1	0
16～18	9	0	0	2	3	2	1	1
夜間小計	4	0	1	1	1	0	1	0
18～20	1	0	0	1	0	0	0	0
20～22	1	0	0	0	0	0	1	0
22～24	1	0	0	0	1	0	0	0
0～ 2	1	0	1	0	0	0	0	0
2～ 4	0	0	0	0	0	0	0	0
4～ 6	0	0	0	0	0	0	0	0

出勤・帰宅時間帯に注意！
ドライバーの皆さんは時間・心に余裕をもった運転を心掛けましょう。

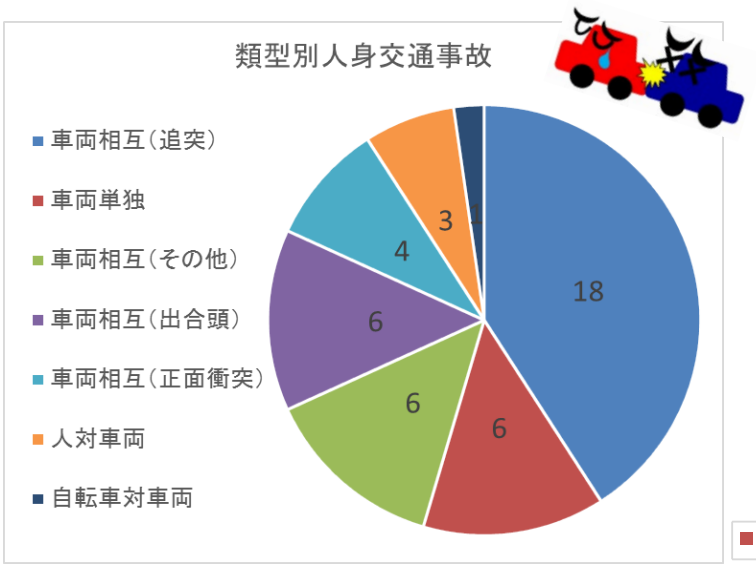


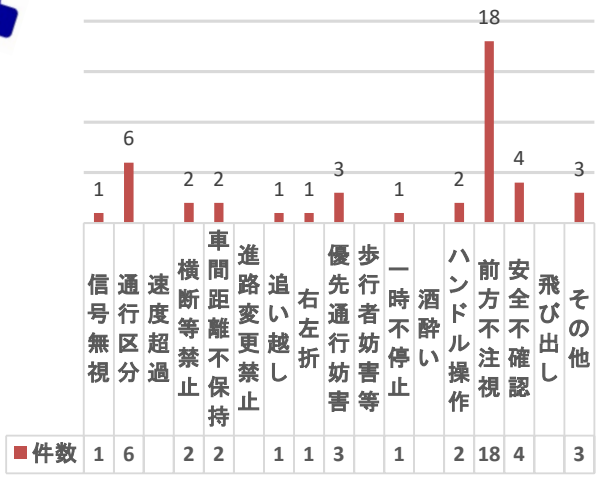
交通事故発生状況（続き）

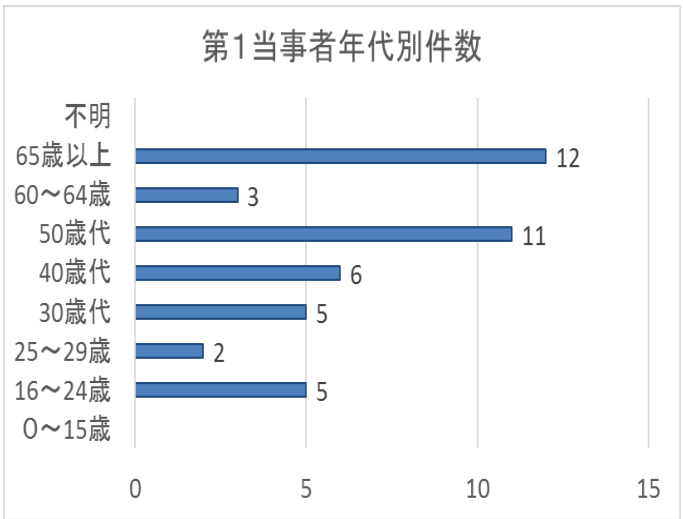
地区別交通事故発生状況

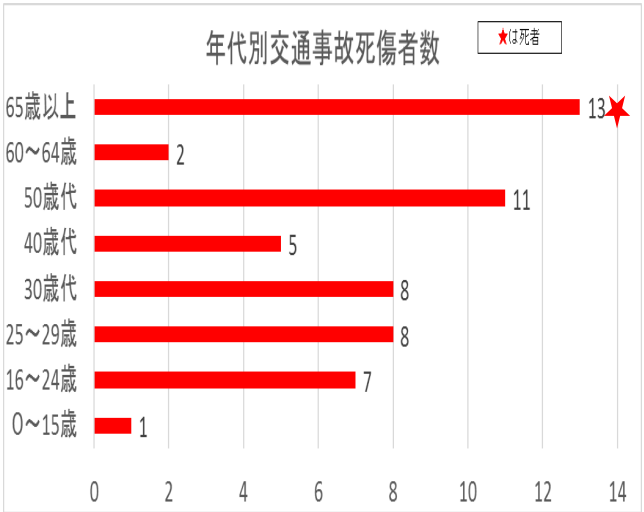


	和田山地区	山東地区	朝来地区	生野地区	八鹿地区	養父地区	大屋地区	関宮地区
7年	21	2	4	2	9	2	1	3
6年	17		3	2	8	9		6









南但馬警察署管内の交通事故の特徴と対策等（令和７年７月末）

○ 特徴
- 65歳以上の高齢ドライバーによる交通事故が多発しています。
- 前方不注視による追突事故が多発しています。
- 出勤・帰宅時間帯の事故が増加しています。
- 2月に横断中の歩行者と車両が衝突する死亡事故が発生しています。

○ 原因
- 追突事故の主な原因は、「脇見運転」、「判断の誤り」、「漫然運転」「車間距離不保持」です。

○ 対策
- 十分な車間距離を確保しましょう。
- 注意を偏らせず運転に集中しましょう。
- 通勤・通学時間帯は時間・心に余裕をもった運転を心掛けましょう。
- 道路を横断する際は、横断歩道を渡るなど交通ルールを守りましょう。
- 十分に水分・休息をとって熱中症に気をつけましょう。